

色の目立ち一進出色と後退色

A Research on Conspicuous Color-combinations

吉岡徹*○望月亜郁子**武藤舞*市原茂*** 大妻女大*大妻女大・院**東京都立大***

1. 目的：進出色 (advancing color)、後退色 (receding color) は服飾の安全、目立ちの色として、高齢者や幼児の交通事故などでは、事故防止のための大切な要因となる。今回、背景色を代えた進出色・後退色についてのアンケート調査をした。
2. 方法：サンプルは灰色の場合、N 1～N 9 までの9色を背景にして、検査刺激はN 3, N 7を並置。赤の場合、5 R 4/2～5 R 4/14 までの中から7色を背景に検査刺激として5 R 4/4, 5 R 4/12を並置。黄色の場合、5 Y 8/2～5 Y 8/12 までの中から6色を背景に検査刺激として5 Y 8/6, 5 Y 8/10を並置。緑の場合、5 G 5/2～5 G 5/10 までの中から5色を背景に検査刺激として5 G 5/4, 5 G 5/8を並置。そして青の場合は、5 B 4/2～5 B 4/10 までの5色を背景に検査刺激として5 B 4/4, 5 B 4/8を並置させた。また、これら各々2色の検査刺激を背景のN 5.5においても並置させ実験した。
3. 結果および考察：背景のコントラストが高いほど刺激が近く見え、コントラストが低いほど刺激は遠く見えた。また、背景と検査刺激が入れ代った時、背景刺激の明度が低く検査刺激の明度が高いもの、背景刺激の彩度が低く検査刺激の彩度が高いものの方が進出率が高い結果が出た。